オープンソースカンファレンス 出展のご案内

協賛・後援

OSC出展のメリット

- 認知度の向上
- 潜在顧客への製品やサービスの紹介
- ユーザーの声など情報収集
- OSSコミュニティ関係者との交流
- OSCを通じたOSSコミュニティ活動のサポート
- 企業間交流
- 若手エンジニア、マーケ担当のトレーニング
- テストマーケティング
- 人材採用

2

主な出展者層（1）

- 企業

  サービス提供、製品販売、製品開発、人材派遣
（ハード、ソフト、コンサル、ウェブ、運用管理保守、クラウド等）
- 団体

  NPO法人、業界団体
- コミュニティ

  勉強会、開発コミュニティ、ユーザーコミュニティ、個人

3

主な来場者層（2）

- ユーザー

  社内に導入する製品やサービスを探している
- 顧客に提案する側の人

  顧客に紹介する製品やサービスを探している
- エンジニアや開発者

  最新の技術情報を収集している
- 情報系の学生

  IT業界の情報を収集している

4

主な来場者層（3）

■システム系企業
・NEC
・富士通
・日立製作所
・東芝
・三菱電機

■SI企業
・富士ソフト
・TIS
・大塚商会
・京セラコミュニケーションシステム
・ヤマトシステム開発
・SRA

■通信・Webサービス系企業
・NTT
・ヤフー
・ソフトバンク
・GMOインターネット
・さくらインターネット
・ディー・エヌ・エー
・GMO
・サイバーエージェント
・IIJ
・NHNテコラス

※その他、ユーザー企業、大学等教育機関多数

参加者の主な所属企業（来場者アンケートより）
※順不同
※関連会社を含みます。

5

OSCで実施可能な内容

- OSC Webサイトへのロゴと社名の掲載、指定サイトへのリンク
- セミナーでの製品・サービス、事例などの紹介
- 展示ブースでの製品やサービスの紹介、資料の配布
- 来場者全員に対する資料の配布
- 独自のアンケートの実施やデータの収集
- 技術者の募集などリクルート活動

6

募集要項

- 申込資格
  - OSSに関わる企業・団体・法人・コミュニティなどの組織
- 出展内容
  - 展示スペース：長机1～2台
    - 会場、協賛レベルによって異なります。
  - セミナー：45分間
- 出展費用
  - 開催、協賛レベルにより異なります（別スライド）

7

現状の課題

■各種勉強会、カンファレンス開催の増加

近年、東京以外の各地方都市でも各種勉強会、カンファレンスが開催されているため、相対的にOSCへの参加意欲が薄れている。また、日程的にも接近、または同日開催などで来場者を分けてしまっているケースもある。

■エンジニアの興味分野の多様化

上記理由と合わせて、エンジニアの興味がインフラから開発、サービスまで多岐に渡るようになり、またOSSであることが当たり前、意識されないようになったため、OSSプロダクト、ソリューションに対する興味が相対的に低下している。

8

今後の対応

■招待講演枠による旬なトピックのセミナー開催

従来OSCは協賛、またはコミュニティ出展のみでしたが、旬なトピックについて話していただける講師を招聘する招待講演枠を設けて、来場者が参加したいコンテンツの充実を図っていきます。コンテンツにはIoTやAI、ビッグデータなどのほか、就職・転職を意識したものも含まれます。

■来場者層の組織化

従来組織化を行わずにイベントドリブンでの開催を行ってきましたが、今後ベース集客層を確保するためにOSPNとして組織化を図っていきます。これには各地域の企業や学校も含まれます。企業や学校単位での参加では大幅な来場者アップが見込めます。

9

OSC2019 開催実績

	イベント名（地域）	日程	来場者数実績(前年)	会場
1	OSC2019 Osaka（大阪）	1/25-26(金土)※1.5日	50名+300名	大阪産業創造館
2	OSC2019 Hamanako(浜松)※地域開催	2/10(日)	150名	浜松市市民協働センター
3	OSC2019 Tokyo/Spring(東京)	2/22-23(金土)	430名+580名	明星大学 日野キャンパス26号館
4	OSC2019 Okinawa（沖縄）	4/20(土)	100名	沖縄県市町村自治会館
5	OSC2019 Hokkaido(北海道)	5/31-6/1(金土)※1.5日	80名+640名	札幌コンベンションセンター
6	OSC2019 Nagoya(名古屋)	7/13(土)	500名	名古屋市中小企業振興会館
7	OSC2019 Kyoto(京都)	8/2-3(金土)	300名+460名	京都リサーチパーク
★	Open Developers Conference（東京）	8/24（土）	300名	日本工学院専門学校
8	OSC2019 Hiroshima(広島)	9/15(日)	200名	サテライトキャンパス広島
9	OSC2019 Shimane(島根)※地域開催	9/28(土)	150名	松江テルサ
10	OSC2019 Niigata(新潟) ※地域開催	10/5(土)	50名	ほんぽーと新潟市立中央図書館
11	OSC2019 .Enterprise（東京）	10/10(木)	250名	AP渋谷道玄坂渋東シネタワー
12	OSC2019 Tokushima	10/19(土)	200名	四国大学　交流プラザ
13	OSC2019 Fukuoka(福岡)	11/9(土)	350名	九州産業大学　12号館
14	OSC2019 Tokyo/Fall(東京)	11/23-24(土日)	500名+330名	明星大学 日野キャンパス28号館

※青字は2日間開催

※1.5日→初日はセミナーのみ半日開催

※地域開催→地域主導開催・協賛募集なし（または限定的な協賛募集）の見込み

※来場者数はプログラムの配布数でカウント

10

OSC2020 開催計画

	イベント名（地域）	日程	来場者数実績(前年)	会場
1	OSC2020 Osaka（大阪）	1/24-25(金土)※1.5日	40名+280名	大阪産業創造館
2	OSC2020 Tokyo/Spring(東京)	2/21-22(金土)	*開催中止	駒澤大学
3	OSC2020 Hamanako(浜松)※地域開催	4/11(土)	*開催中止	浜松市市民協働センター
4	OSC2020 Nagoya(名古屋)	5/16(土)	(500名)	名古屋市中小企業振興会館
5	OSC2020 Hokkaido(北海道)	6/27(土)	(640名)	ACU（アキュ）札幌
6	OSC2020 Kyoto(京都)	8/21-22(金土)予定	(300名+460名)	調整中
★	Open Developers Conference（東京）	未定	(300名)	未定
7	OSC2020 Hiroshima(広島)	9月頃？	(200名)	未定
8	OSC2020 Shimane(島根)※地域開催	9月-11月頃？	(150名)	未定
9	OSC2020 Fukuoka(福岡)	9月-11月頃？	(380名)	未定
10	OSC2020 Tokyo/Fall(東京)	10/23-24(金土)	(650名+400名)	AP西新宿
11	OSC2020 Okinawa（沖縄）	12/12(土)	(100名)	沖縄コンベンションセンター

※青字は2日間開催
※1.5日→初日はセミナーのみ半日開催
※地域開催→地域主導開催・協賛募集なし（または限定的な協賛募集）の見込み
※来場者数はプログラムの配布数でカウント

11

協賛費用と協賛特典

協賛種別	東京開催（2日間）	京都開催（2日間）	大阪開催	その他開催	社名ロゴ掲載	展示	セミナー	資料配布［来場者全員］	資料配布［カタログコーナー］	アンケート結果
プラチナ	ご相談	40万円～	30万円～	20万円～	○	○	○	3点まで	3点まで	集計結果 メールアドレス
ゴールド	40万円	20万円	15万円	10万円	○	○	○	2点まで	3点まで	集計結果 メールアドレス
シルバー	20万円	10万円	7.5万円	5万円	○	○	×	1点まで	3点まで	集計結果 メールアドレス
ロゴ	3万円	3万円	3万円	2万円	○	×	×	1点まで	×	集計結果

スタンプラリーポイント設置（主に2日開催で実施）	プラチナスポンサー：無料	その他種別：有料オプションにて提供

- ロゴ掲載（Webサイトと配布プログラムへの掲載）
- 展示スペース（長机1～2台。会場、協賛種別による）
- セミナー（45分間1コマ。2日間開催も同様）
- その他（ご要望に応じてお見積り。PR企画、セミナー2コマ、展示スペースの拡張など）
- 資料配布[来場者全員]（受付で配布プログラムと一緒に来場者にお渡しします）
- 資料配布[カタログコーナー]（「ご自由にお持ちください」のスペースに設置）
- 来場者アンケート集計結果のご報告
- パーミッション付きメールアドレスリスト（メールアドレスのみ）

※税別表記です
※OSC浜名湖、他地域開催は当てはまりませんので、別途お問合せください。

※年間協賛につきましては、別途ご相談ください。

12

OSCはじめて割（東京春/秋 開催限定）

「会社としてOSCに出展してみたいけど出展費用が・・」というご意見を反映し、創業したばかりの企業向けに「OSC出展 はじめて割」を設定しました。
以下の条件に当てはまる場合には協賛費用が大幅割引になります。

■ **はじめて割 適用条件**
OSSをビジネスに活用している企業/OSCに出展したことがない/設立3年以内/資本金1000万円以下/前日準備にスタッフ参加できる

■ **割引金額**
- ゴールド（展示とセミナー）：40万円→5万円
- シルバー（展示のみ）：20万円→0円

■ **補足**
- ロゴ掲載や配布物などその他の出展特典も通常の協賛と同様となります。
- 前述準備は会場設営や配布物の準備などを行います。
- 本企画は、創業間もない企業にOSCでビジネスをアピールする機会をご提供するものです。主旨に合わないお申し込みと判断した場合には、割引を適用しない場合があることを予めご了承ください。

13

展示ブース

用意しているもの
- 長机　1～2台、イス　1～2脚
- 電源（容量は1ブースにつき、ノートPC 1～2台程度まで）
- 出展者名の印刷された用紙(A3サイズ)
  （別途パネル、テーブルクロスなど、持ち込み利用可能）

展示ブースで実施できること
- デモ、ユーザーへの説明、アンケート調査、CD・DVD・パンフレット・チラシなどの配布、ノベルティの配布など
- 書籍、グッズなどの物品販売（会場によってはできません）

注意事項
- ネットワークが利用できる会場もありますが、不安定な場合や接続制限のある場合があります。ネットワーク接続を利用しないデモ環境をご用意ください。
- 壁への貼り紙ができない会場があります。
- 会場によって、壁寄せ、対面式、島型などレイアウトが異なります。

14

セミナー

用意しているもの
- プロジェクター
- スクリーン（※モニターの場合もあります）
- マイク（※部屋のサイズにより、マイクがない場合があります）

ご講演に関して
- ノートPC、レーザーポインターなどは各自でご準備ください。
- ネットワークが利用できる会場もありますが、不安定な場合や接続制限のある場合があります。ネットワーク接続を利用しないデモ環境をご用意ください。
- 司会はおりません。開始時間にスタートし、時間内に終了してください。
- プレゼンの文字は大きめに設定してください。
- Q&Aは、セミナー時間内か終了後展示ブースなどで行ってください。
- アンケートなどは、時間内で行ってください。
- 事務局では資料の印刷は行いません。各自印刷していただくか、開催前または開催後にOSC Webサイトで公開可能です。

15

Webサイト 社名・ロゴ掲載例

OSC公式 Webサイトへの掲載

参加団体（2月20日現在）

協賛
- Elastic
- IBM
- NEC
- 株式会社NTTドコモ
- SRA OSS, Inc. 日本支社
- TIS株式会社
- 日本仮想化技術株式会社
- 日本マイクロソフト株式会社
- ニュータニックス・ジャパン合同会社
- 株式会社アイオーアーキテクト
- アシラス株式会社
- 株式会社ウェブチップス
- 株式会社クロスパワー
- サイボウズ株式会社
- さくらインターネット株式会社
- 株式会社デージーネット
- 東芝デジタルソリューションズ株式会社
- 株式会社虎の穴
- cybozu developer network（サイボウズ株式会社）
- NTTコムウェア株式会社
- SECUDOS(Far East)PTE Ltd.
- 株式会社アドックインターナショナル
- 株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
- 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社創夢
- @IT
- ThinkIT
- 株式会社インプレス
- 株式会社オライリー・ジャパン
- 株式会社技術評論社(Software Design)
- 株式会社秀和システム
- 株式会社翔泳社
- ソフトバンク クリエイティブ株式会社
- 株式会社日経BP - 日経Linux
- 株式会社マイナビ出版
- 株式会社ステレオサウンド

後援
- Linux Professional Institute日本支部
- 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
- オープンソースビジネス推進協議会(OBCI)
- OSSコンソーシアム
- EC-CUBE開発コミュニティ
- NPO法人ベーサー・ファウンデーション
- NPO法人TOPPERSプロジェクト
- 日本UNIXユーザ会

OSC サポーター
- 旭山観次郎
- 日本Sambaユーザ会
- 箕輪穂範
- 白谷篤史
- MyDNS.JP管理人

参加グループ
- A FreeBSD committer
- Analog&RaspberryPi電子ギーク団
- aozorahack
- baserCMSユーザー会
- Cobalt Users Group/Project BlueQuartz
- COSCUP / 開源人年會
- CryptoZone
- Debian JP Project／東京エリアDebian勉強会
- DonkeyCar@名古屋電子工作の会
- EC-CUBE東京ユーザーグループ
- Ejectコマンドユーザー会
- Endian Firewall Community Japan
- FLOSS History Project
- Future Versatile Group/MyDNS.JP
- Geeklog Japan
- Japanese Raspberry Pi Users Group
- KUSANAGIユーザグループ
- Lagopus Users Community
- LibreOffice日本語チーム
- Linux-HA Japan Project
- mikutterユーザ会
- mstdn.maud.io ユーザ会
- Neo4jユーザーグループ
- Netpbm
- OpenStreetMap Japan
- openwrt.jp (仮)
- OSASK計画
- osdev-jp
- OSSライセンス総締相談所
- Plone Users Group Japan
- Proxmox VE 愛好会
- Scalix Users Community
- Tokyo HackerSpace
- Tokyo WordPress Meetup
- Ubuntu Japanese Team
- Xandrosers Community
- おーぷんここん
- おーぷん万屋
- NPO法人オープンソースソフトウェア協会
- 小江戸らぐ
- 実践IoTラボ
- 柴田充也 (個人)
- 線型算法同好会
- データフロー活用研究会
- 東海道らぐ
- 東北公益文科大学
- 東京NixOSミートアップ
- 日本Activitiユーザ会
- 日本MySQLユーザ会(MyNA)
- 日本NetBSDユーザーグループ
- 日本OpenSolarisユーザ－グループ
- 日本 openSUSE ユーザ会
- 日本 PMMP ユーザー会
- 日本PostgreSQLユーザ会
- 日本Sambaユーザ会
- 日本xrdpユーザ会
- 日本Zabbixユーザー会
- 日本暗号通貨ユーザ会
- 日本語プログラミング言語なでしこ なでしこ友の会
- 話せばわかるコンピュータの会
- 東葛飾PM&A研究所
- プラレール・トミカ改造工房
- まぐろのみぞおち
- 南島原市IoT推進ラボ
- 明星大学尼岡研究室
- へにゃぺんて
- 山の奥ユーザー会
- ラズパイオーディオの会

←トップページ　　↓展示ブース一覧

オープンソースの「今」を伝える
オープンソースカンファレンス
2019 Tokyo/Spring

メインメニュー
- トップページ
- スポンサー出展ご案内
- 22日(金)セミナータイムテーブル
- 23日(土)セミナータイムテーブル
- 展示ブース一覧
- [同時開催] コミュニティオリジナル企画
- 22日(金)懇親会 18:20～
- お問い合わせ
- OSCトップページ

展示ブース一覧 2/20現在
（2F 201/204、5F 508/509/503/504）
--展示時間--
■2/22(金) 11:00～17:30
■2/23(土) 10:00～16:00

協賛企業（[ ]内はカテゴリ）	展示内容
Elastic [検索/運用監視/アプリケーション性能監視]	Elasticsearch、Logstash、Kibana、Beatsなど Elastic Stackを用いたログ解析など様々なユースケースをデモを交えてご紹介します。
IBM [クラウド/コンテナ/AI]	IBM Cloud（IBMが提供するクラウド・プラットフォーム）とアプリケーション開発の手順がまとめられたCode Patternsを紹介いたします。
NEC [運用管理/OSSライセンス/セキュリティ]	エンタープライズ対応のオープンソース監視ソリューションである Zabbix、および、ソフトウェア開発におけるOSSの適正な利用および迅速な脆弱性対策を支援するBlack Duckのソリューションをご紹介します。<金曜日のみ出展>
SRA OSS, Inc. 日本支社 [サポート/データベース/運用監視]	各種OSSに関するサービス（サポート、プロダクト、コンサルティング、トレーニング等）をご紹介します。
TIS株式会社 [クラウド/運用管理/Infrastructure as Code]	Ansible・Serverspecベースの OSS自動化フレームワーク「SHIFT ware」の紹介、及び、その他Infrastructure as Code関連情報。
日本仮想化技術株式会社 [クラウド/仮想化]	仮想化技術やクラウドに関する何でも相談と、アタッシュケースに収まるRaspberry Piで作ったKubernetes環境のデモを行っています。
日本マイクロソフト株式会社 [クラウド /教育]	Microsoft Azure Learningの体験コーナーを設置いたします。サブスクリプション契約等を行わずに様々なAzureソリューションの学習体験を行うことができます。(お持ち込みいただいたPCでも学習体験が可能です)
株式会社アイオーアーキテクト [運用管理]	弊社の導入実績のある運用管理OSSとして、OTRS、CMDBuild、JobScheduler、OSC Inventory NG、OpenAuditなどのご紹介をします。OTRSと他のOSSを組み合わせてAPI開発したり、お客様のニーズに合わせてカスタマイズしたソリューションをご紹介します。
アシラス株式会社 [Web アプリ]	Webアプリケーション開発のデリバリーシステムとその開発プロセスについてデモを行ってます。特に Angular, Spring boot, Azureを中心に展示します
株式会社ウェブチップス [Web アプリ/公共・自治体/オープンデータ]	オープンソースソフトウェア「シラサギ」のご紹介 自治体向けCMS、グループウェア、Webメールを、Webアプリとして利用できます。複数の県に導入実績があるオープンデータ機能も搭載。
株式会社クロスパワー [クラウド/運用管理/オープンデータ]	1.業界初！オープンソースのAWS管理ツール「Naruko」のご紹介 2.インフラ構築とアプリ開発をワンストップで、クロスパワークラウドサービスのご紹介
サイボウズ株式会社 [クラウド/グループウェア/Linux]	サイボウズ株式会社／サイボウズ・ラボ株式会社で行っているコミュニティ活動についてご紹介します。 ◎弊社が開発、公開しているオープンソースソフトウェア ◎サイボウズ・ラボのインターン制度「ラボユース」 ◎勉強会やイベントへの会場提供
さくらインターネット株式会社 [ホスティング/クラウド/コンテナ]	さくらのクラウドやVPSの新機能、Dockerなどのコンテナ利用について紹介します。さくらのクラウドなどのお試し利用チケットも配布します。

16

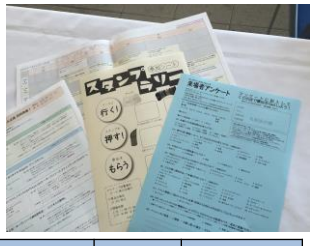
当日配布プログラム ロゴ掲載例

当日配布のプログラムの表紙

17

プラチナスポンサー特典

- ロゴ掲載位置が最上段（ウェブ、配布プログラム）
- スタンプラリーポイント設置
  - 展示ブース立ち寄り数がアップ
  - 設置団体、来場者からも好評
  - 展示ツアーでの立ち寄り
- 展示ブースのスペース優遇
- その他　ご相談に応じて



スタンプラリー開催	ゴール人数	イベント来場者数
2020 Osaka	50	280（2日目）
2019 Tokyo/Spring	125/195	430/580
2019 Nagoya	210	500
2019 Kyoto	95/145	300/460
2019 Tokyo/Fall	170/100	500/330

※プラチナスポンサー以外のスポンサーの方の
スタンプラリーは有料オプションにてご参加可能です

18

特典：ライトニングトーク（LT）by OSCスポンサー

スポンサーの要望・・・LTで効果的にPRしたい
※コミュニティのLT（イベント最終枠）はビジネス宣伝NGのため

↓

スポンサーのPRができるLT枠を設定
- ■ 東京・京都で実施（セミナー枠に空きがある場合）
- ■ 12:00～のセミナー枠を利用

<u>エントリー条件</u>

- ✓ OSCスポンサー（協賛・後援）であること
- ✓ 製品やサービスの単なる宣伝ではなく、オリジナリティのある面白い取り組みなどの発表であること

19

特典：資料配布

■資料の配布（サービス案内資料、カタログなど）

●来場者全員配布（薄い資料）
- 100～700枚（開催規模による）
- 袋詰めし、プログラムとセットで受付にて手渡し

●カタログコーナー（カタログもOK）
- 30～50枚（開催規模による）
- 会場内の専用スペースに設置可能

※セミナーや展示ブースでの配布は自由

20

その他の特典

ご要望に応じて特典をアレンジ可能です

- セミナー枠の追加
- 展示スペースを拡張
- 大抽選会（じゃんけん大会）の景品提供
- 企画セッションなどの調整
- スタンプラリーのポイント設置

お見積もりいたします。
お気軽にご相談ください

21

目的別OSC参加スタイル

- 担当者トレーニング
- テストマーケティング
- 企業間交流
- 人材採用　など

→OSCは出展者の目的に合わせて参加できる、自由の高いイベントです

22

OSC活用例（企業間交流）

出展者同士のコミュニケーションが、協業やビジネスに繋がる

- パートナーマッチング
- 案件リードの創造

→OSCの懇親会の場もご活用ください
→個別のご相談も受け付けしております

23

OSC活用例（担当者トレーニング）

OSCを通じて経験できること

- 自社製品・サービスの見せ方、伝え方を考える
- 若手エンジニアの対人コミュニケーションの向上
- プレゼンテーションの場慣れ、フィードバック
- 他の出展者との交流で視野が広がる
- 内部・外部との調整、手配の経験

→新入社員、若手の担当者などで、OSC運営スタッフを経験することでイベント実務を習得させたい場合は、ご相談ください

24

OSC活用例（テストマーケティング）

<u>セミナー講演のフィードバック</u>

- 聴講者の反応を試せる機会
- 本番のプレゼン精度を上げることができる

<u>展示ブースでのデモ環境・資料などの作成</u>

- デモの見せ方の練習
- 配布用のリーフレット、ノベルティ、POPなど

→後日の営業やイベント用に準備
→個別のご相談も受け付けしています

25

OSC活用例（人材採用）

<u>リクルーティング活動</u>

- 展示ブース、セミナーで人材募集
- 学生インターンの募集
- 新卒・中途採用の人材発掘

→自由に行っていただけます

26

開催までのスケジュール

日程	主なスケジュール	内容説明
3ヶ月前	・出展者募集開始 ・申込みファイルを事務局に提出	出展名/展示/セミナー内容などを入力。ロゴデータを送付。
7週間前	・出展者申込みの締切	事務局でセミナー割当て案作成
6週間前	・セミナー割当ての確認・調整	同時間にテーマの重複がないか
5週間前	・外部にセミナープログラム公開 ・セミナー参加登録の開始	Webサイトに掲載。各セミナーへの事前登録人数が確認できます
4週間前	・出展者マニュアル「開催までのご案内」を送信(PDF)	荷物送付方法、イベントの流れ、展示・セミナー実施の諸注意など
前　日	・送付荷物現地到着 ・前日準備(準備なしの場合もあり)	展示レイアウト完了後、展示スペースの設営が可能
開催日	・展示10:00～16:00 ・セミナー10:00～17:00	9:00～10:00準備時間 開催時間が異なる場合もあり
終了後	・セミナー発表資料の公開 ・アンケート集計結果のご報告 ・協賛費用の御請求・お支払	発表資料は、PDFか掲載先URLをWebサイトに掲載。

27

御見積もりおよび御請求

- 御見積書
  - 必要に応じて作成いたします
- 御請求
  - 開催月の月末に御請求書を発行・送付いたします
  - 開催日が月末の場合は、翌月の5日に発行・送付いたします
  - 開催前に御請求書の発行・送付がご希望の場合は対応させていただきます
  - お支払い期日は発行月の翌月末といたしますが、ご都合に合わせて対応させていただきます

28

年間協賛　御見積例(1)

- 年間ゴールド協賛

参加開催：東京1回（春or秋）※(1)・京都※(1)
・名古屋・北海道・福岡・ODC

※(1) 2日間開催

協賛費用：100万円（税別）

＜特典＞

不参加の開催※(2)でのロゴ掲載、資料配布

※(2) 地域開催、テーマ型開催を除く

※年度の途中からの参加も可能です。ご相談ください。

29

年間協賛　御見積例(2)

- 年間ゴールド協賛

参加開催：東京2回（春/秋）※(1)・京都※(1)・名古屋・北海道・福岡・大阪・広島・沖縄

※(1)　2日間開催

協賛費用：165万円（税別）

＜特典＞

不参加の開催※(2)のロゴ掲載、資料配布

※(2) 地域開催、テーマ型開催を除く

※年度の途中からの参加も可能です。ご相談ください

30

ノベルティご提供のお願い

- 来場者アンケートと引き換えに、くじ引きを行っています
- ノベルティグッズ、書籍などぜひご提供ください
- Webサイトに提供元、画像を掲載しますので、プロモーションとしてもご活用いただけます

Photo by:tishimoto

Photo by:tishimoto

31

懇親会の開催

- 開催終了後に、出展者・講師・来場者・スタッフが集う懇親会を開催
- OSSコミュニティ関係者との交流を深める機会として好評
- 参加申込はOSC Webサイトにて
- 基本的には会費制の開催（領収書発行あり）

32

展示スペースのレイアウト

- 展示スペースのレイアウトは使用する会場の広さや出展者数により異なります
  - 最終的なレイアウトは開催準備の際に決定します
- 対面式
  - 机を挟んで来場者と対面式で展示が行えます
  - 来場者用通路が十分に確保できる場合に対面式になります
- 壁寄せ
  - 机を壁に寄せて配置します
  - 来場者と近い距離で説明が行えます
  - 会場により、壁にポスター等の貼り付けやパネル掲示が行えます
- 島型
  - 展示スペースの中央部分に机で島を作ります
  - 壁の利用ができません
  - 他の団体と向い合い、または、背中合わせとなります

33

展示ブース(ご参考)-1

Photo by:tishimoto

Photo by:tishimoto

34

展示ブース(ご参考)-2

Photo by:tishimoto

35

セミナー会場(ご参考)

36

年間協賛企業/後援団体

2020/2/20 現在

※この他、開催の都度、協賛・後援していただいている企業・団体は多数（次ページ参照）

ゴールド

- IBM
- NEC
- NTTコムウェア（株）
- （株）NTTドコモ
- SRA OSS, Inc. 日本支社
- TIS（株）
- （株）アトミテック
- 日本仮想化技術（株）
- サイボウズ（株）
- ニュータニックス・ジャパン合同会社

後援

- Linux Professional Institute日本支部
- 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
- オープンソースビジネス推進協議会
- OSSコンソーシアム
- 一般社団法人PyCon JP
- NPO法人ベーサー・ファウンデーション
- 日本UNIXユーザ会

ロゴ

- （株）創夢
- 三菱電機インフォメーションシステム(株)

37

参加協賛企業・後援団体 (OSC2019 Tokyo/Fall参加一覧)

◆協賛

・IBM
・NEC
・NTTコムウェア株式会社
・株式会社NTTドコモ
・SRA OSS, Inc. 日本支社
・TIS株式会社
・株式会社アトミテック
・日本仮想化技術株式会社
・ニュータニックス・ジャパン合同会社
・wolfSSL Japan合同会社
・かもめエンジニアリング株式会社
・コニカミノルタ株式会社
・サイボウズ株式会社
・さくらインターネット株式会社
・株式会社デージーネット
・東芝デジタルソリューションズ株式会社
・富士通株式会社
・ヤフー株式会社
・株式会社オミカレ
・cybozu developer network（サイボウズ株式会社）
・Nougami
・株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ
・三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社
・株式会社創夢
・@IT
・ThinkIT
・株式会社インプレス
・株式会社オライリー・ジャパン
・株式会社技術評論社(Software Design)
・株式会社翔泳社
・SBクリエイティブ株式会社
・株式会社日経BP － 日経Linux
・株式会社マイナビ出版
・株式会社リックテレコム
・株式会社テッキーメディア

◆後援

・Linux Professional Institute日本支部
・特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
・オープンソースビジネス推進協議会(OBCI)
・OSSコンソーシアム
・一般社団法人PyCon JP
・NPO法人ベーサー・ファウンデーション
・NPO法人TOPPERSプロジェクト
・日本UNIXユーザ会

38

出展コミュニティ
(OSC2019 Tokyo/Fall参加一覧)

■63団体

・Analog＆RaspberryPi電子ギーク団
・aozorahack
・Clonezilla
・Cobalt Users Group/Project BlueQuartz
・CoderDojo有志
・Debian JP Project／東京エリアDebian勉強会
・Ejectコマンドユーザー会
・Endian Firewall Community Japan
・Future Versatile Group/MyDNS.JP
・html5j
・Ionic Japan User Group
・Japanese Raspberry Pi Users Group
・Lagopus Users Community
・LibreOffice日本語チーム
・Linux-HA Japan Project
・mikutter
・mstdn.maud.io ユーザ会
・MyDNS.JP＆ユーザー会
・myzkstr.com
・Netpbm
・openwrt.jp（仮）
・OSASK計画
・osdev-jp
・OSGeo日本支部
・OSSライセンス姉崎相談所
・PCGF
・Plone Users Group Japan
・Scalix Users Community
・Tokyo HackerSpace
・Tokyo WordPress Meetup
・Winter Cardinal 開発チーム
・Xandrosers Community
・ZOMEKI CREATORS CLUB
・おーぷんここん
・オープンソースToy開発部
・NPO法人オープンソースソフトウェア協会
・おーぷん万葉
・ガジェットハッキングユーザーグループ
・小江戸らぐ
・仕事道具は自分で作るOSS個人開発
　- Submarine.js
・セキュリティ博物館プロジェクト
・線型算法同好会
・中央大学 飯尾研究室
・低レベル勉強会
・データフロー活用研究会
・東海道らぐ
・日本 GPD ユーザー会
・日本Matomo(旧Piwik)ユーザー会
・日本MySQLユーザ会
・日本NetBSDユーザーグループ
・日本OpenSolarisユーザグループ
・日本 openSUSE ユーザ会
・日本PostgreSQLユーザ会
・日本Sambaユーザ会
・日本Zabbixユーザー会
・日本暗号通貨ユーザ会
・日本工学院八王子専門学校
　パソコン・ネットワーク科（学生）
・話せばわかるコンピュータの会
・秘密結社オープンフォース／
　日本Androidの会原子力部
・へにゃぺんて
・矢野 哲朗（個人）
・ラズパイオーディオの会

39

OSC事務局で支援します！
お気軽にご相談ください

- セミナー企画、タイトル、概要作成など
- 出展ブースレイアウト等
- 配布物、ノベルティ等の制作
- その他OSCに関すること

事務局アドレス

osc2020@begi.net

40